



## 森ボラ通信

第30号 2004年 11月20日発行

北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区南2条西2丁目 金市館ビル8F

Tel 241-8155 Fax241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

### ■忘年会のお報せ

日時：12月21日（火）

宿泊場所：洞爺パークホテル天翔

会費：1万円（1泊2食・夕食時90分飲み放題つき）

送迎バス：サンシャインスポーツクラブ前13：00発

（中央区南3条東2丁目）

※現地までの無料送迎バスです。バスの中から盛り上がりましょう。

### ■第2回理事会

開催日時：11月27日 14：30～15：30

場所：市民会館 第8会議室

議題：活動報告（中間）

財務報告（中間）

17年度活動方針大綱

### ■12月セミナーのお報せ

12月セミナーを下記要領にて開催します。参加申請されていない方でも会員以外の方でもご参加ください。

#### 記

テーマ：地域における森林の多面的機能の発揮に資する森林施業について

講師：元道立林業試験場総括SP 橋場一行氏

日時：12月15日（水）9：30～11：30

場所：かでる27 1040室（60人収容）

主催：北海道林業協会 協賛：北海道森林ボランティア協会

聴講料：無料

### ■NHKラジオ出演のお報せ

高野事務局長がNHKラジオに出演します。放送時間は以下の通りです。

□12月2日（木）ラジオ第1、午前7時40分～8時

「おはようもぎたてラジオ便」の中の「環境メッセージ」というコーナーです。

□12月9日（木）ラジオ第1、8：55 9：55 12：55 15：55 20：55

「澄川の森からのメッセージ」が上記時間に流れます（同内容）。既に過去2回放送され、今回は最終回になります。

#### 今年度有明作業終了

11月17日（水）雨天にて作業中止、18日（木）参加17名。前日の冷たい雨とは打って変わって小春日和のこの日は参加者も多く、谷側トドマツ林の風倒木整理が終わり、有明での今年度の作業をきっちり締めくくることができました。北斜面とはいえ広葉樹の生育は目覚しく、真っ直ぐに天指すホウノキに、イタヤ、クリ、ミズナラ、ヤチダモが目立ちました。林床は足の踏み場もないほどに鮮やかなトドマツ稚樹の緑に覆われていますが、ほとんどが成長せず枯れてしまうとのこと。であれば、これらの苗の移植を試みたいと思わずにいられません。鎌田さんによれば山採り苗の場合、秋に仮植して春植えるのが理想であるが、春に仮植の秋植えも可能とのこと。来年、山採り苗の植林計画しませんか。（柴田）

#### 有明作業



11月12日（金）参加20名、13日（土）参加11名。トドマツ人工林の倒木整理は一日目山側終了、二日目谷川に移動しました。トドマツ林の林床には、2年前の枯木伐採により一斉に芽吹いた広葉樹が成長しています。できるだけ幼木の成長の妨げにならぬよう、また、できるだけ腐れが早まるよう、倒木を玉切りし、枝を払い移動させます。2年前の倒木は大分腐れが進み、切り株は布団のように苔に覆われて、そこから幾つもの新しい命が芽生えていました。今は痛々しく見えるこの場所も、数年後には逞しい生氣漲る場所となっているでしょう。中折れの木の半数はクマガラの来訪を期待して、そのまま残すことにしました。（柴田）

#### 自作のゲタで寿司を食べる会

11月9日参加16名、16時30分開始。山田寿司は満席でした。インターネットのホームページ開設1周年記念行事と銘打ちましたので、酒井さんがパソコンを持ち込みまして、柴田さんがインターネットの画面を説明しました。アクセス回



数8500回もう少しで1万回となります。ゲタの審査を店主にお願いしました結果は、杉本則子さんの作品がグランプリに選ばれました。それぞれ個性的なゲタに乗せられた寿司と、銘酒「久保田」を大いに食べ、かつ、呑みまして盛り上がり、想定予算(?)を大幅に上回りましたが、楽しい会となりお開きにくい状況でしたが、18時過ぎには散会しました。(高野)

## 11月 定例幹事会

11月8日(月)台風と事務所移転のゴタゴタで2回パスした結果になり、久々の幹事会でした。会議室が広いので希望者参加を呼びかけましたところ、4名がオブザーバー格として参加となりまして、出席幹事とともに活発な議論を交換し、各課題を決議しました。

- ①冬期活動について、12月15日はKKRを会場にしまして「樹木の健康診断」について樹木医である橋場一行氏の話しを聞くことになりました。1、2、3月のセミナー講師は昨年遣り残した会員講師による講演会を継続します。希望者は演題と希望月を事務局までお報せください。
- ②平成17年度活動方針については作業設定日数の基準を2回/週もしくは10回/月程度のペースとします。作業計画を各森林について山主と協議の上リセットいたします。
- ③活動内容による分科会をつくります。当面は広報(柴田)、作業計画(棟方)、間伐材活用(杉本)、啓蒙・研修(山岸)の4部門とします。それぞれリーダー〔( )内は候補〕を協議の上選定します。
- ④忘年会は洞爺湖にします。宿は1万円を上回らない条件でこれから選択します。
- ⑤事務所借料の負担を予算化します。これまで、CWEにおんぶされてきましたが、移転を契機に自立の方向を目指します。当面1ヶ月3万円見当で使用料支出を予算化します。
- ⑥事務所費用を含め、森ボラ通信の経費等を考慮しますと、現在の会費1000円は安すぎますので、次年度からは3000円にアップすることにしたい。理事会および総会の議案といたします。
- ⑦法人会員増加作戦開始。次年度の重点課題として法人会員の増加運動を展開したい。会費およびターゲットを理事会および総会の議案としまして、積極推進することで、財務を安定させましょう。
- ⑧第二回理事会を11月27日(土)に開催します内容は中間報告となります。
- ⑨作業スケジュールを一部変更します。有明第二を下記に変更
  - 澄川のキノコホダ木の冬囲い作業 11月24日(水)
  - 西野第二の風倒木調査 11月25日(木)、26日(金)

※被害状況については棟方さんの報告参照（4ページ）。

※待ち合わせは地下鉄東西線・発寒南駅上のスーパーJOY駐車場に9時30分。

## 有明第二

11月4日（木）参加12名、5日（金）参加16名。トドマツ人工林の倒木整理に着手。折り重なった枝を払い幹を露出させ玉切りします。初参加の前地さんが自前のチェーンソーを持ち込みましたので、3台のチェーンソーがフル稼働しまして、上の段の倒木をあらかじめ片付けました。（高野）

## 澄川の除伐と倒木処理

10月29日（金）参加19名、30日（土）参加8名。森林施業活動もいよいよ終盤に入りました。澄川では風倒木の整理がほぼ終わりました。併行して除伐を進めておりますが、これももう少しで終わる見通しです。拡張部分の除伐を1シーズンで終了したことは、慣れてきた仕事とはいえ十分評価していただける成果だと思います。ご苦労様でした。

## 木工

10月26日（火）参加11名。「自分手製のゲタで寿司を食べる会」のためのゲタ作りが中心の作業だったようです。結果については11月9日の記事をご覧ください。

## 朝日ホールにて2004「国際ボランティア」のつどい

10月26日（火）18:30から朝日ホールで講演をしました。前半が当協会の活動報告、後半はアグネス・チャンの講演でした。郵政公社の主催ですから、助成していただいた撫順の植樹プロジェクトの話が中心になります。演壇からみますとほぼ満席のようでした。柴田さんが編集、酒井さんが操作してくれます画面を使いながらの話でしたので、楽でした。与えられた50分きっかりにまとめられたのでほっとしました。（高野）

### ◆アグネス・チャン講演／杉本則さんの感想

白地のワンピースに目の覚めるようなブルーの上着を着たアグネス・チャンがにこやかに演壇に上がってくる。何年か前に「愛は地球を救う」という24時間番組がテレビで放映されたが、その時の司会者が徳光和男アナウンサーで「来年のこの番組にはアシスタントとしてアグネス・チャンを」と逆指名したことを思い出

す。

そのアグネスがマイファミリーのことから話し始め、長姉は女優、次姉は医者、男二人の兄弟のことには触れなかったが三女のアグネス自身は歌手になった。素晴らしい血筋をお持ちなんだなあと思う。10代の頃からボランティアに入り、彼方此方の施設を訪問して少しずつ歌っていたところをスカウトされ今の彼女がいる。

ボランティアで貧困の国へ何度も出かけては、口に言い表わせないようなひどい情景にも出会っただろうに又出かけて行く。現地の人に勧められた食べ物はどんな物でも口に入れるという。又何でも食べられるという。あの色白で細い身体の内には太い精神と魂、エネルギーが溢れるように入っているのかなあ。

最後に元ビートルズのジョン・レノンの歌を聞かせてくれて締めくくりとなりました。およそ1時間15分、聴衆は席を立つこともなく身じろぎもせず聞き入っていました。素晴らしいアグネス・チャンに拍手。

### ニセアカシア談話会

10月24日（日）参加4名。去る9月1日、小林峠ニセアカシア観察会で講師をお願いした北海道大学の梅さんの所属する「旭山森と人の会」の呼び掛けにより、旭山森のフェスティバル内の「ニセアカシアに関するフリートーク」に参加しました。みんなでニセアカシアに関する課題を共有しよう—というコンセプトのもと、北海道大学・林業試験場・当協会がそれぞれの取り組みと考え方を発表しました。未だ謎の多いニセアカシアの長所短所を整理しつつ共生の道も探ろうとの問題提起です。当協会からは、酒井代表が中国旅行の折の啓発と台風18号被害からの今後の方向性を絡めた活動を報告。林業試験場からはニセアカシア利用開発プロジェクトとの協働の可能性も提示され、今後の活動の広がりのきっかけともなり得る有意義な参加機会でした。（柴田）

### 森林施業計画制度の説明会議

今春、林野庁政令により、国の補助対象となる森林施業の実施主体として、NPO法人が追加されたことについての説明会が10月22日札幌市役所庁舎で行われました。

出席者は石狩支庁、石狩森づくりセンター、市役所、当協会(高野 芝加治)の8名。

当方の現況説明と新しい制度の適用陳情に対して、自治体側は林野庁の政令は認める。しかし、市役所側は森林施業計画を立てておらず、今後も計画の策定やNPOとの施業実施協定もする考えは持たない。現状のまま、例え自然被害や過密林分があっても人工的に手入れせず、自然の遷移に委ねることが市の緑化指針とのことでした。但し、当協会の森林施業活動の現況については異論なしとのこと。（加治）

### 新入会員の紹介

札幌市・西野第二都市環境緑地の風害被害地の状況についての報告(16年11月16日棟方)

1. 西野第二都市環境緑地のある場所は、琴似発寒川に接した箇所であるが、この箇所は風の通り道だったようで、河岸の平坦地の被害が特に大きく、隣接のテニスコートの周囲にあった大径木の多くも被害を受けている。(テニスコートの周辺の被害木はすでに整理搬出済み)

2. 平坦地のニセアカシア等の被害木は、伐倒してその場で玉切りして、そのまま放置する。

琴似発寒川に接して、被害地との間に自転車道路があり、散策する人が通る場所のすぐ横であるので、景観上からもなるべく早く処理することが望ましい。(自転車道路に支障のある木は処理済み) 2日間程度で処理が可能と思われる。

3. 傾斜面にあるトドマツの人工林などは自転車道路から離れており景観上あまり問題はないと思われるので、明春の処理でも差し支えないと思われる。

4. 平坦地はヤチダモ、ミズナラ等の稚幼樹があるので、それらを活かしながら明年補植したらと考えます。(なるべく損傷を避けるために、伐倒前に稚幼樹にテープなどでマークしておいたら良い。すでに100本位マーク済み)



平坦な場所で(面積は0.7ha位)、ニセアカシア、ドロノキ、ヤチダモなどの大径木が生立していたが、その多くが倒木となっている。

平坦な箇所から傾斜地の部分にかけての広葉樹林で、中折れ、倒木の被害が出ているが、平坦地ほどの被害ではない。

傾斜面にあるトドマツの人工林が、中折れ、倒木の大きな被害を受けている。